

磯辺公民館だより

磯辺公民館
TEL278-0033
令和4年4月

つどい・まなび・つなぐ

世界の平和を願う

館長 木村 重雄

本年2月24日に、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻が始まりました。今もなお、ロシア軍による攻撃でウクライナ国民の数多くの命が失われ、多くの国民が危険にさらされています。いかなる理由であっても、他国への軍事侵攻は許されるべきものではありません。ロシアの軍事侵攻により命を失われた方へ心から哀悼の念を表します。

我が国もロシアとの領土問題を抱えており、他国のこととは思えず、危機感を感じています。それだけでなく北朝鮮によるICBMの発射、尖閣諸島周辺領海外側の接続水域での中国海警局の航行など日本の国土の安全を脅かす事案が多発しております。この先世界はどうなってしまうのでしょうか。子や孫にこの美しい日本をしっかりと引き継いでいかなければなりません。そのために今何ができるのでしょうか。そのような思いの中、日本の歴史を紐解くと、トルコ共和国との友好関係を築いた出来事を思い浮かべました。明治23年9月15日「トルコ軍艦エルトゥールル号」和歌山県串本町大島樫野崎沖の座礁事故です。

そこで先日、和歌山県の串本町を訪問してきました。当日はこの事件を思い出させるような大時化でしたが、トルコ共和国との友好の絆が深まったこの地を訪れ世界の友好と平和を願いました。以下その話を紹介します。



串本町樫野崎にあるトルコ初代大統領ムスタファ・ケマル・アタテュルク騎馬像

和歌山県串本町 HP「日本とトルコの絆をつないだ物語」より一部抜粋

恐怖の声明

「今から48時間後に、イランの上空を飛ぶ飛行機を無差別に攻撃する」しかし、日本からの救援機は来ない。

イラン・イラク戦争が続いていた1985年3月17日、イラクのサダム・フセイン大統領が「今から48時間後に、イランの上空を飛ぶ飛行機を無差別に攻撃する」という声明を発表しました。イランに住んでいた日本人は、慌てて首都テヘランの空港に向かい出国を試みましたが、どの飛行機も満席で搭乗することができませんでした。

世界各国は自国民を救出するために救援機を出しましたが、日本からの救援機の派遣は、航行の安全が確保できないとの理由から見送られ、空港にいた日本人は途方に暮れていました。

エルトゥールル号の恩返し

「エルトゥールル号の遭難から95年後、日本人の危機をトルコ共和国が救う」

そんな時、救いの手を差し伸べてくれたのがトルコ共和国です。トルコから駆けつけた救援機2機により、日本人215名全員がイランを脱出することに成功しました。タイムリミットのわずか1時間前のことでした。

当時、テヘランには多くのトルコ人も在住していましたが、航空機を日本人に提供し、トルコ人は陸路で避難をしたそうです。

「私たちはエルトゥールル号の借りを返しただけです」

なぜトルコの航空機が来てくれたのか、日本政府もマスコミもわからずにいましたが、後に駐日トルコ大使のネジアティ・ウトカン氏は当時、次のように語られました。「エルトゥールル号の事故に際して、日本人がなしてくださった献身的な救助活動を、今もトルコの人たちは忘れていません。私も小学生の頃、歴史の教科書で学びました。トルコでは子どもたちさえ、エルトゥールル号の事を知っています。今の日本人が知らないだけです。それで、テヘランで困っている日本人を助けようと、トルコ航空機が飛んだのです。」

詳細は → <https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/kanko/kizuna/turkey.html>

私が磯辺公民館に着任して3年目に入りました。これからも地域の皆様の生涯学習のお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

今年度は、事務室の職員は継続となりましたが、図書職員3名が新しく入れ替わりました。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

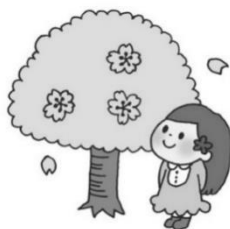
主催行事「今後の予定」

◇5月14日(土) こどもの土曜日

「親子でバルーンアートをやってみよう」

※対象：小学生と保護者

申込み受付：4/24～26



◇5月18日(水)～20日(金) パソコン講座

「初心者のためのエクセル」

※対象：成人

申込み受付：5/2～4

今年度も新しい講座を企画しておりますので、ぜひご応募ください。

(応募多数の場合は抽選となります。)

インフォメーションボードを設置しました

インフォメーションボード(デジタルサイネージ)を新設しました。

使用予定や使用上の留意事項の他に主催事業の案内や防災情報等も掲示しますのでご覧ください。



図書室だより

読書は自分への投資という考え方。

自分の時間を仕事に使って賃金を得ると労働になります。でも、その時間を読書に使えば様々な世界や新しい考えを知ることができ、時には人生がより楽しいものになることもあります。言い換えると、読書によって未来の自分に投資をしているとも言えますね。そして、図書室で働いている私たちは、磯辺公民館に来てくださる方に、ぜひ読書に興味をもち良い本と巡り合っていていただきたいと思っています。



そこで今回は、何を讀んだらいいかわからないという方へ向けて「読書の世界にお誘いする本」を紹介してみることにします。まず、モヤモヤしている女の子のための読書案内 マイナス思考から抜け出せないとき…この本ではフランツ・カフカ(ポジティブだけが人生じゃないと考えている)の本をお勧めしています。次に、こども学問のすすめ…「蟻の門人」について、自分のためだけに頑張る人生はちょっとつまらないと思わないか?と、斎藤孝さんがわかりやすく解説しています。絵本では、科学絵本の世界100…数学・宇宙・地球・歴史など絵を使って科学に興味を向ける楽しさを紹介しています。絵解きゾウの時間ネズミの時間などわかりやすい絵本を紹介しています。また、東野圭吾公式ガイドブック…デビュー35周年を記念して96作品について魅力を紹介しています。推理小説好きには良い道しるべになります。このような本を入り口にして、興味のわく本を借りてみるのもいかがでしょうか。上記の本は磯辺公民館にあります。皆様どうぞおいでくださり本を手にとって新しい世界への扉を開けてみてください。ご来館をお待ちしています。